

# HTMLに触れてみよう

# この教材でできること

- ・ 実際にコードに触れる
- ・ いろいろなタグを理解できる

## どんな教材？

HTMLのコードを組んで、ページに文字や写真などを表示できる！

# 目次

- ①文字を表示してみよう
- ②文字以外のものを表示できるようにしよう
- ③その他の表示

# 目次

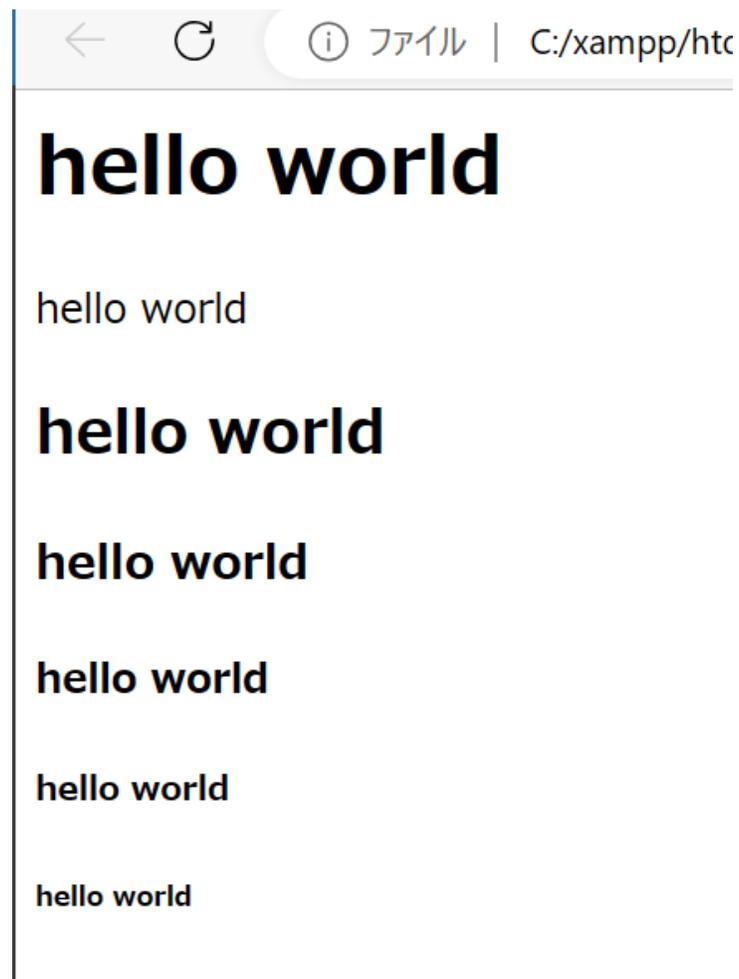
①文字を表示してみよう

②文字以外のものを表示できるようにしよう

③その他の表示

# ①文字を表示してみよう

このページではいろいろな大きさの文字を表示できるようにするよ！



# ①文字を表示してみよう

フォルダーを作成しよう

作成する場所はどのでもいいよ！

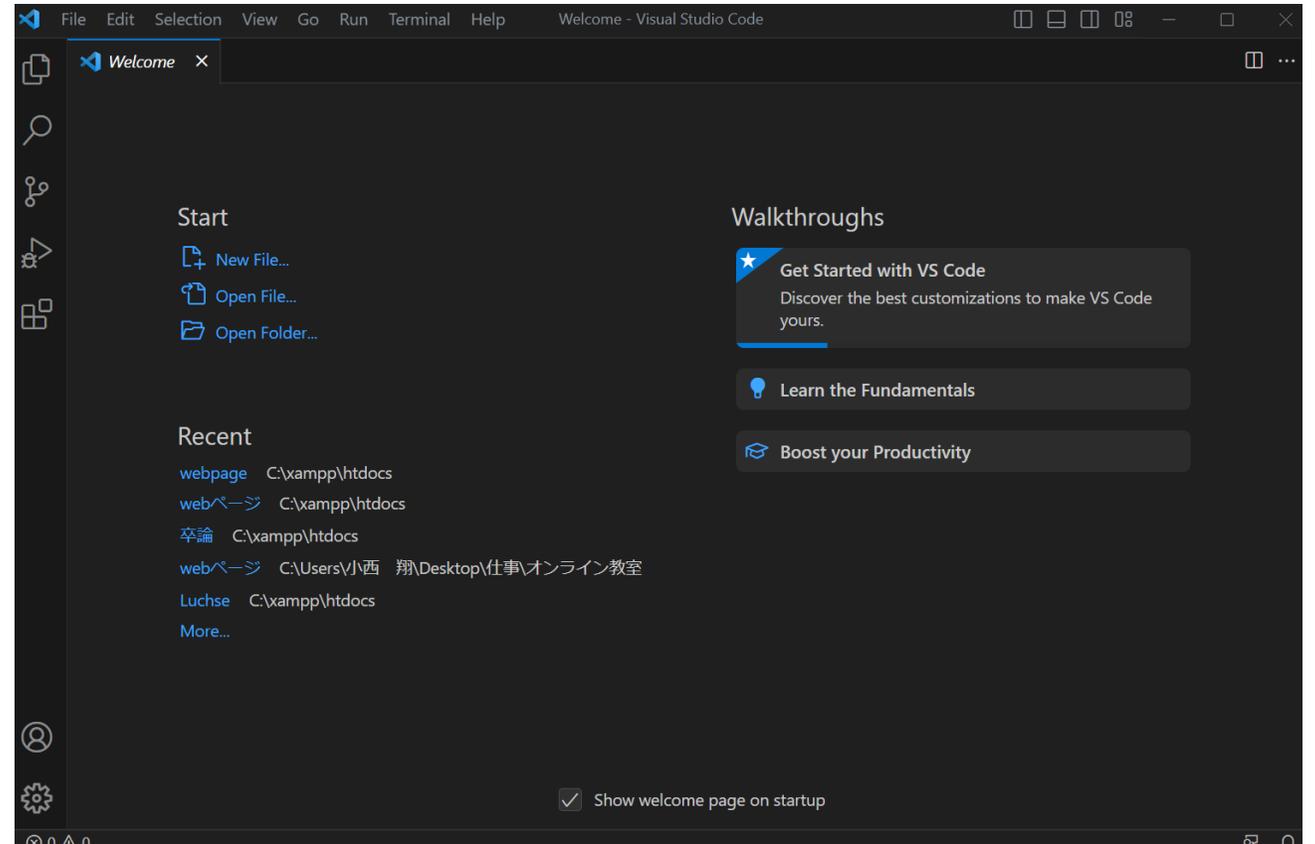
※右クリック->新規作成->フォルダー



webcreate

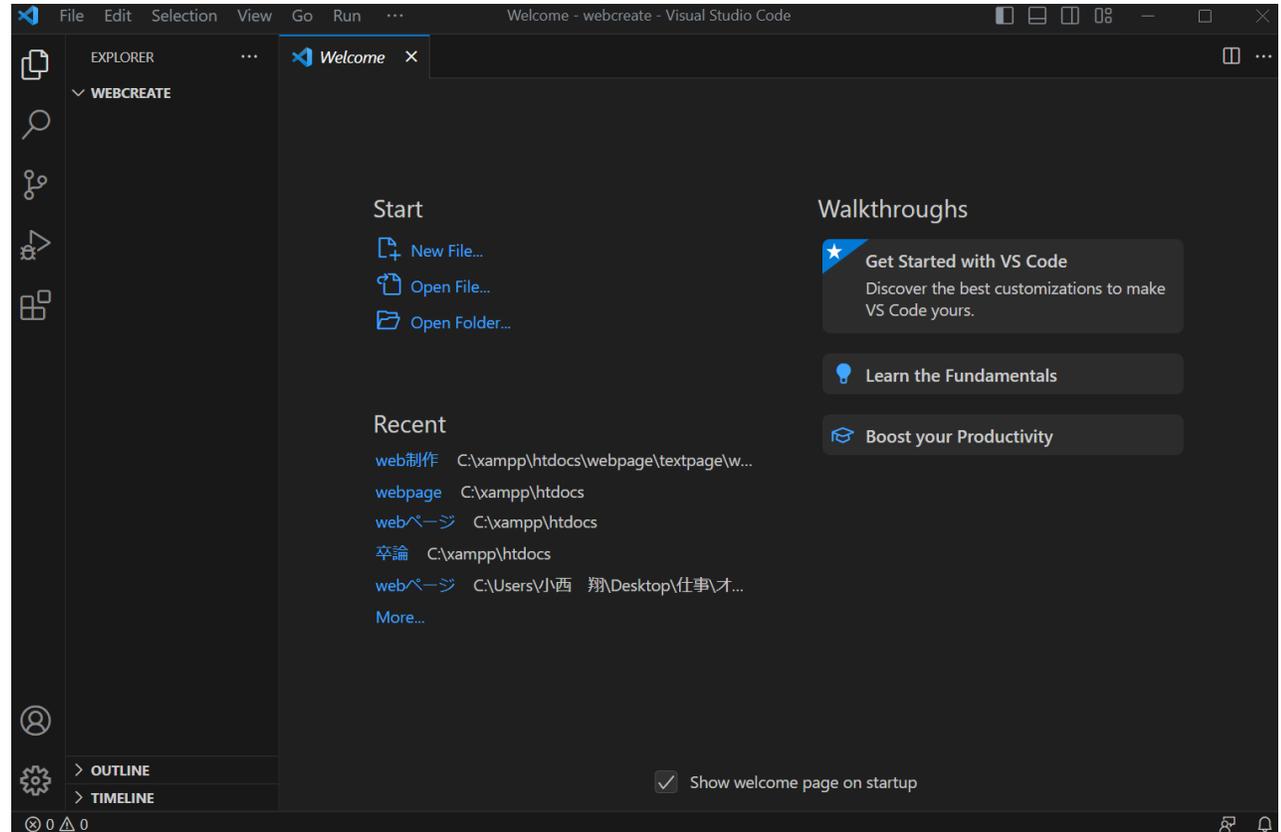
# ①文字を表示してみよう

Vscodeを開いてみよう  
「open Folder」からさっ  
き作ったフォルダーを指定  
しよう！



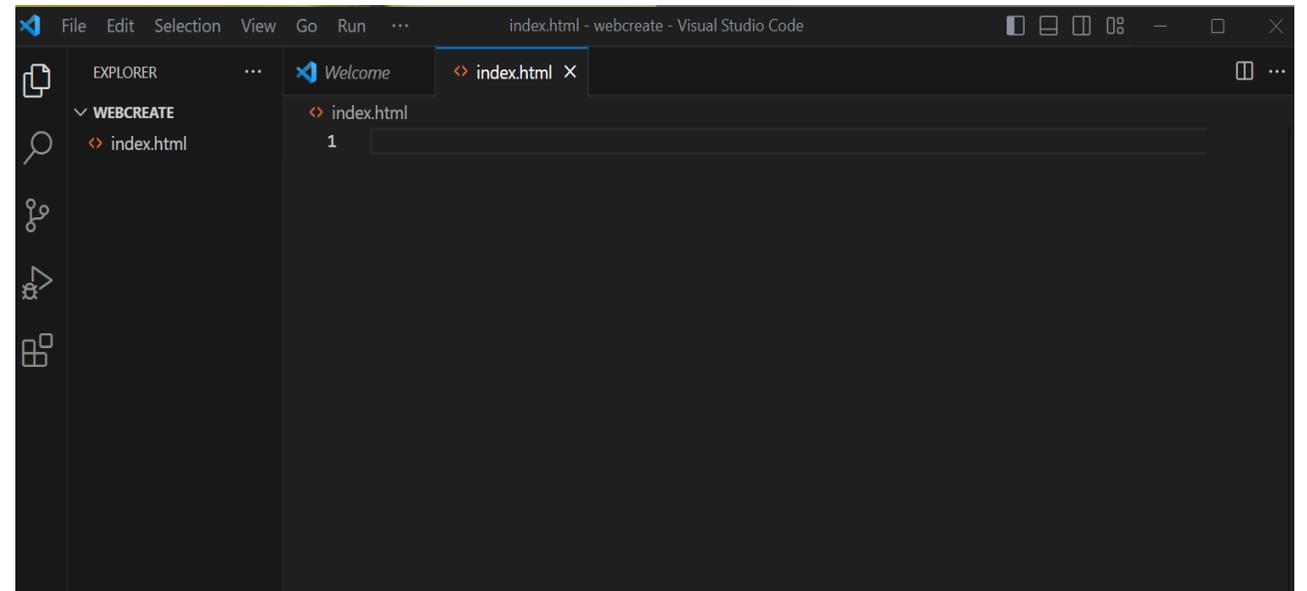
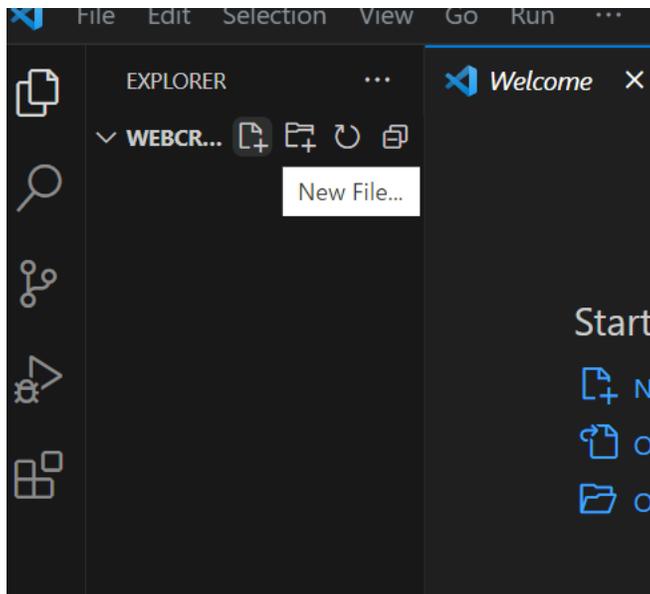
# ①文字を表示してみよう

左にさっき作ったフォルダの名前が表示出来ていたらOK！



# ①文字を表示してみよう

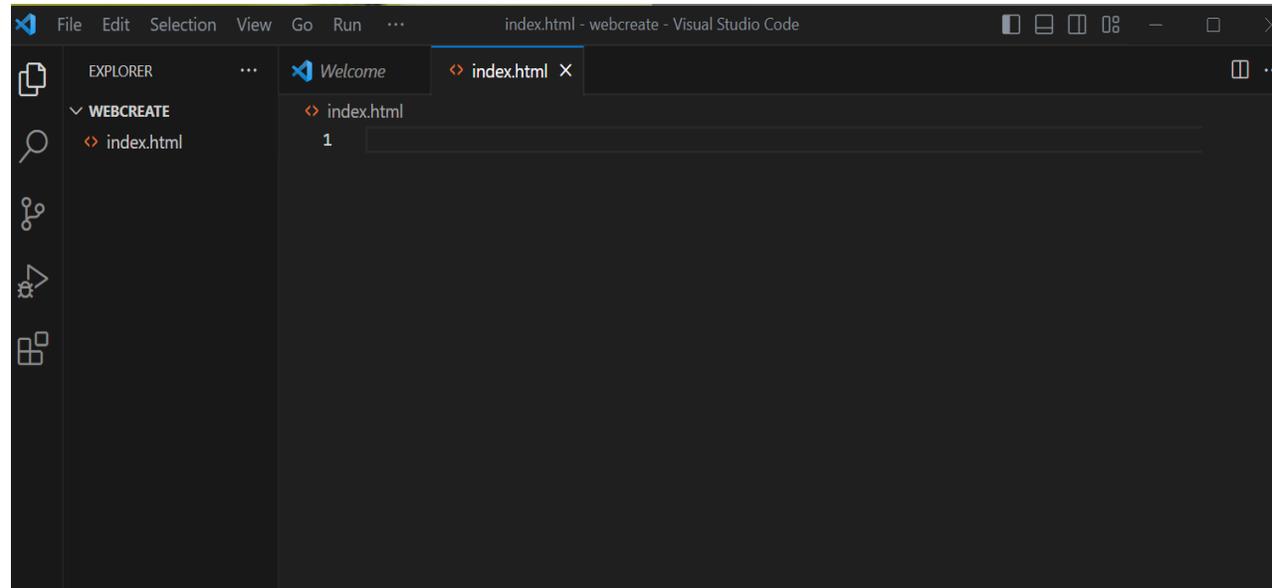
フォルダーに改組るを当てて「New File」をクリックしてファイルの名前を決めよう！



# ①文字を表示してみよう

やっとでプログラミングができる準備が整ったよ！

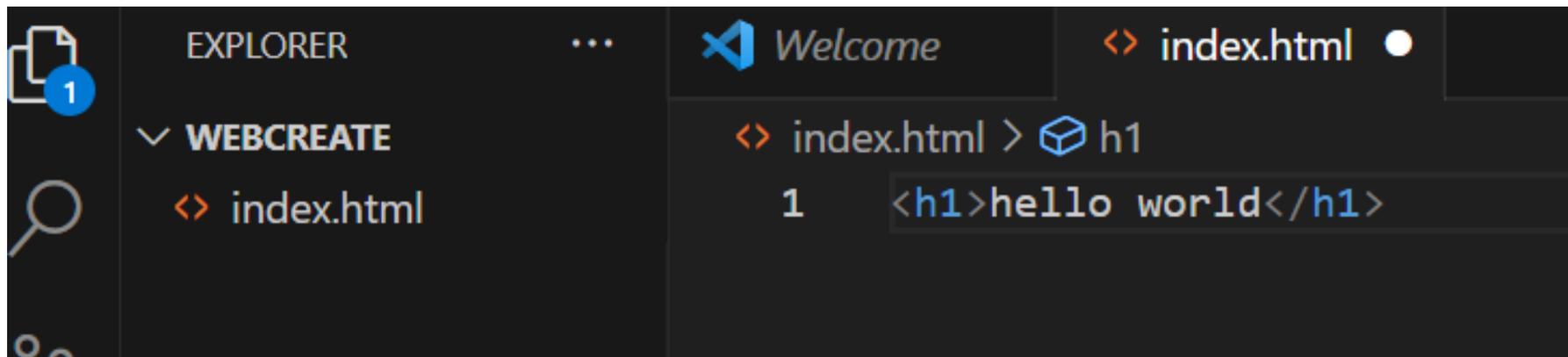
この画面からコードを書いていってみよう！



# ①文字を表示してみよう

1行目に写真のように書いてみよう！

ポイント:最初に「h1」を入力してそのあとに「Enterキー」を押すと  
楽に進めるよ！



```
EXPLORER
  WEBCREATE
    index.html
  Welcome
    index.html > h1
      1 <h1>hello world</h1>
```

# 用語解説

- タグ: 範囲を指定するものでどこからどこまでを指定しているかを決めるもの。最後に「/」を忘れないこと

タグ

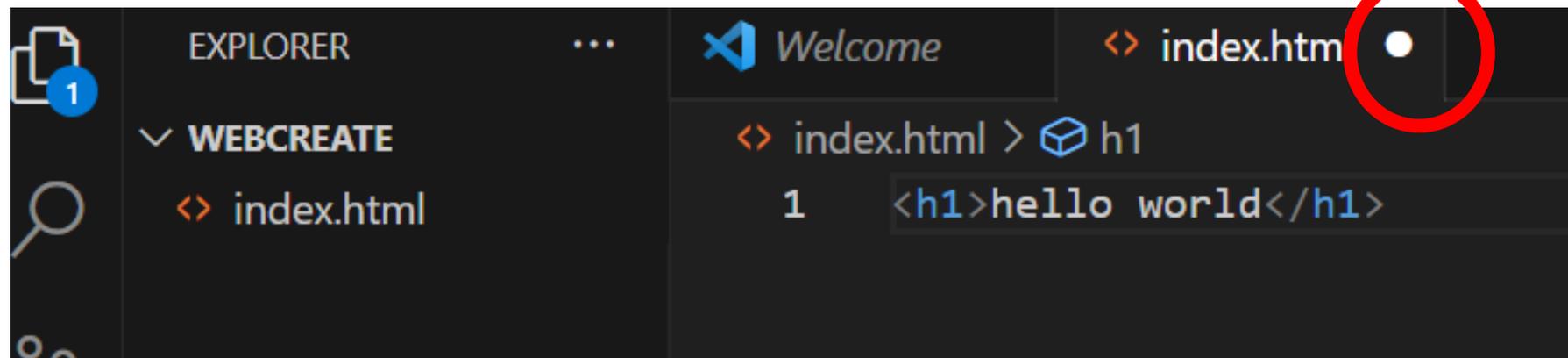
```
<h1>hello world</h1>
```



# ①文字を表示してみよう

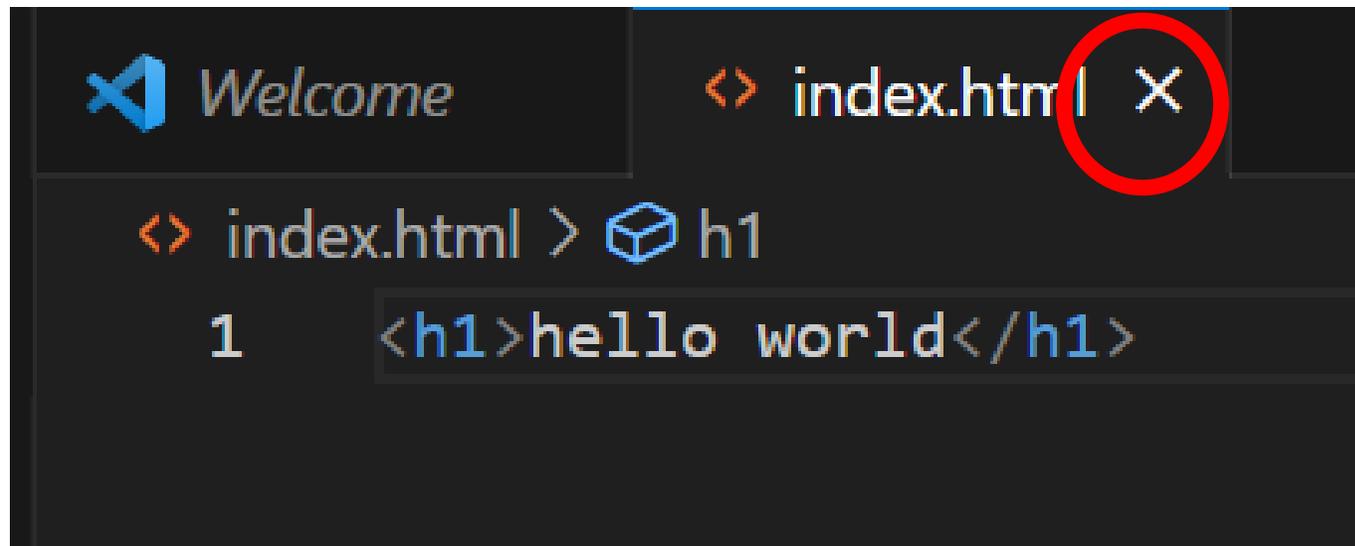
「○」がついているのは、最新のコードが保存できていない状態を表しているよ！左上の「file」->「Save」から保存できるよ

※保存は「Ctrl」 + Sでもできるよ！



# ①文字を表示してみよう

「○」が消えたら保存成功！早速さっき書いたものがどのように表示  
出来ているか確認してみよう。



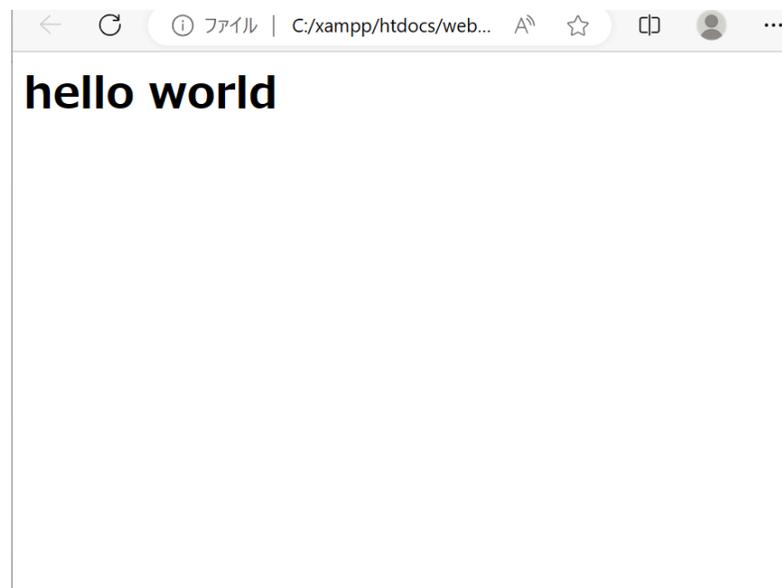
The screenshot shows a code editor interface with a dark theme. At the top, there is a 'Welcome' message and a tab for 'index.html'. The 'index.html' tab has a red circle around the close button (an 'X' icon). Below the tab, the code editor shows the following content:

```
<> index.html >  h1  
1 <h1>hello world</h1>
```

# ①文字を表示してみよう



最初に作ったフォルダーの中を見るとさっき作ったhtmlファイルがあるよ！開いてみると下の写真のように表示されたかな！



# 質問

このコードを見て気になることはないかな？

※考えてから次のスライドに進んでみよう！

```
<h1>hello world</h1>
```

# 答え

タグが「h1」になってるね！

1って必要かな？

次のページでいろいろ試してみよう！

```
<h1>hello world</h1>
```

# ①文字を表示してみよう

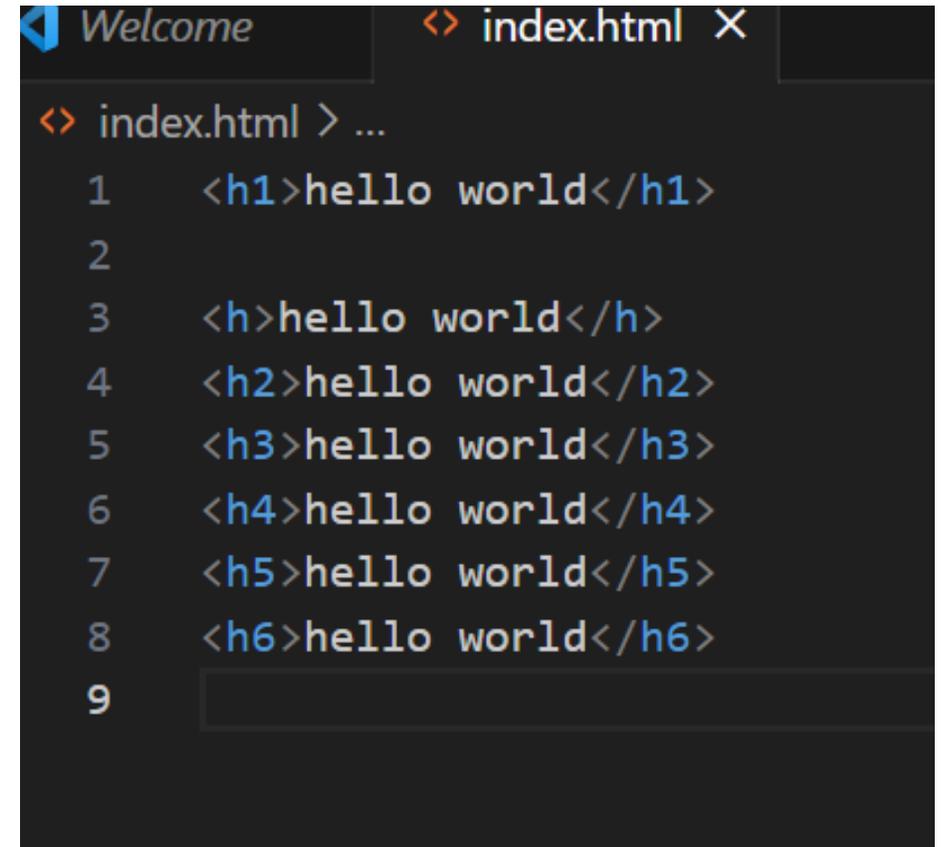
以下のタグを追加して、どのように表示されるか確認してみよう

- <h>
- <h2>
- <h3>
- <h4>
- <h5>
- <h6>

※コピー(右クリックして該当の選択肢をクリックまたは「Ctrl」+C)してペースト(右クリックして該当の選択肢をクリックまたは「Ctrl」+V)すると簡単にできるよ

# ①文字を表示してみよう

右のようにできたら保存しよう！



```
Welcome index.html X
<> index.html > ...
1 <h1>hello world</h1>
2
3 <h>hello world</h>
4 <h2>hello world</h2>
5 <h3>hello world</h3>
6 <h4>hello world</h4>
7 <h5>hello world</h5>
8 <h6>hello world</h6>
9
```

# ①文字を表示してみよう

このように表示されたかな？

実はh1～h6は実際のタグで使えるけど、hだけのタグは存在しないよ！

※他にも文字を表示するのはpタグも存在するよ

```
hello world ←h1  
hello world ←h  
hello world ←h2  
hello world ←h3  
hello world ←h4  
hello world ←h5  
hello world ←h6
```

# 用語解説

- h1タグ:大きく表示
- h2タグ:h1より小さく表示
- h3タグ: h2より小さく表示
- pタグ:h6より小さく表示

# 目次

①文字を表示してみよう

②文字以外のものを表示できるようにしよう

③その他の表示

## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

このページでは文字以外(写真、  
表など)を表示できるようにする  
よ！



# 質問

webページを見て文字以外に何があるかを考えてみよう！

※考えてから次のスライドに進んでみよう！

# 答え

下のようなものを思い浮かべたかな！

- 写真
  - 表
  - 図
- など

## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

まずは写真を表示してみよう。

[web.png \(1866 × 876\) \(koni-prog-online.com\)](#)

これをパソコンにダウンロードして、最初に作ったフォルダーの中に入れてよう！

フォルダーの中は合計2つファイルができるようになるよ



## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

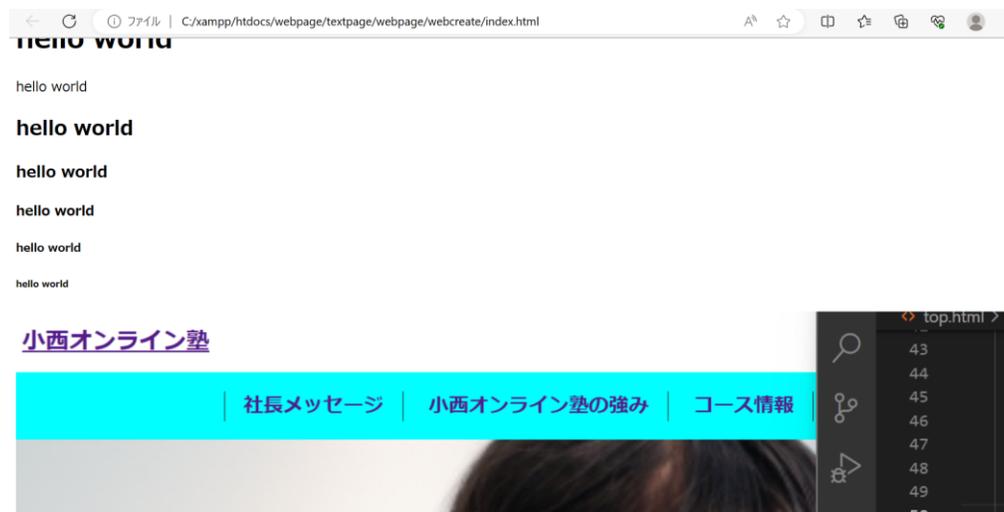
10行目に写真のように書いてみよう！

ポイント:最初に「img」を入力してそのあとに「Enterキー」を押すと楽に進めるよ！

```
8 <h6>hello world</h6>
9
10 
```

## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

Hello worldの下に写真が出てきたかな？



## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

次に表を表示できるようにしよう。

名前	学年
小西	1年

## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

左のように書いてみよう

それぞれのタグは後で説明するよ！

```
11
12 <table>
13   <tr>
14     <th>名前</th>
15     <th>学年</th>
16   </tr>
17   <tr>
18     <td>小西</td>
19     <td>1年</td>
20   </tr>
21 </table>
```

## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

写真の下に小さく表が出てきたかな？

※また枠は出ないよ！



**名前 学年**

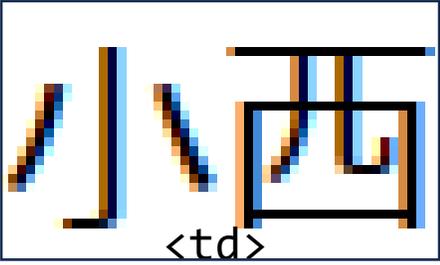
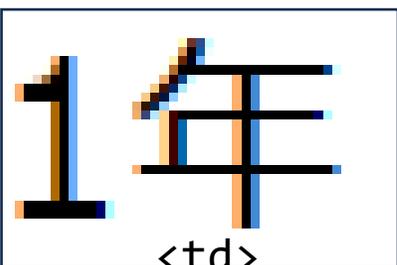
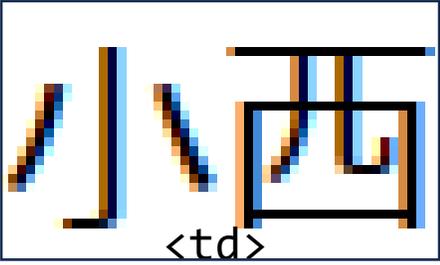
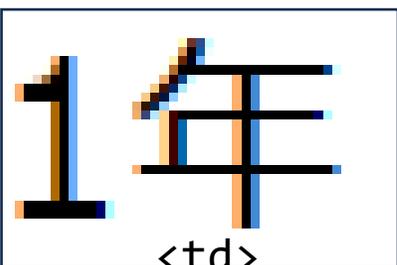
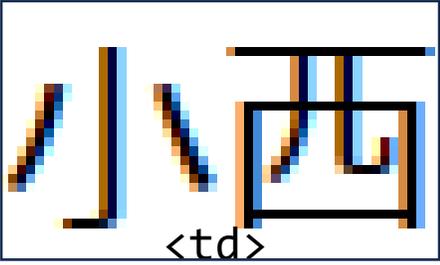
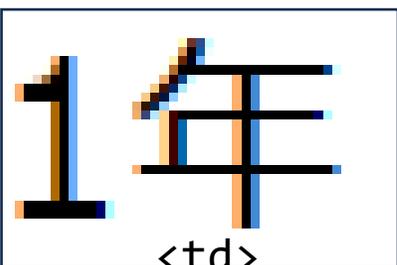
小西 1年

# 用語解説

- tableタグ:表を作るための用意をするタグ
- trタグ:表の行を作るタグ(Table Row(行)の略)
- thタグ: 見出しとなるものを作成するためのタグ (Table Header(見出し)の略)
- tdタグ:データとなるものを作成するためのタグ(Table Data(データ)の略)

# 用語解説

<Table>

<tr>	<table border="1"><tr><td data-bbox="784 529 1276 786"><p data-bbox="996 505 1098 541">&lt;th&gt;</p></td><td data-bbox="1284 529 1775 786"><p data-bbox="1472 505 1574 541">&lt;th&gt;</p></td></tr></table>	<p data-bbox="996 505 1098 541">&lt;th&gt;</p> 	<p data-bbox="1472 505 1574 541">&lt;th&gt;</p> 
<p data-bbox="996 505 1098 541">&lt;th&gt;</p> 	<p data-bbox="1472 505 1574 541">&lt;th&gt;</p> 		
<tr>	<table border="1"><tr><td data-bbox="800 901 1240 1166"><p data-bbox="963 1129 1065 1165">&lt;td&gt;</p></td><td data-bbox="1302 901 1699 1166"><p data-bbox="1457 1129 1559 1165">&lt;td&gt;</p></td></tr></table>	 <p data-bbox="963 1129 1065 1165">&lt;td&gt;</p>	 <p data-bbox="1457 1129 1559 1165">&lt;td&gt;</p>
 <p data-bbox="963 1129 1065 1165">&lt;td&gt;</p>	 <p data-bbox="1457 1129 1559 1165">&lt;td&gt;</p>		

## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

表に枠をつけるよ！Tableタグに以下のコードを追加してみよう

※tableとborderの間に半角スペースを入れてね

```
12 <table border="1">
13   <tr>
14     <th>名前</th>
15     <th>学年</th>
```

## ②文字以外のものを表示できるようにしよう

このようになったら成功！！

名前	学年
小西	1年

# 目次

①文字を表示してみよう

②文字以外のものを表示できるようにしよう

**③その他の表示**

## ③その他の表示

webページにはリンク、箇条書きなどほかにもいろいろあるよ！

今度はいろいろなものについてやっていこう！

名前	学年
小西	1年

ホームページ

- 1つ目の項目
- 2つ目の項目
- 3つ目の項目

## ③その他の表示

まずはリンクの作成からやっていくよ！

※URL(<https://www.koni-prog-online.com/top.html>)をコピーして下記のように張ってみよう。

```
22
```

```
23 <a href="https://www.koni-prog-online.com/top.html">ホームページ</a>
```

## ③その他の表示

表の下にリンクが出てきたかな？

リンクを押してみても思っているリンク先に飛んだかな？

小西 | 1年  
ホームページ

# ③その他の表示

当塾のホームページが出てくるようになったら成功



# 用語解説

- aタグ:リンクを作るための用意をするタグ

「href」の中にリンク先のURL（ローカルの場合はファイルの場所）を入力

ここに画面に表示したい文字を入力



```
22  
23 <a href="https://www.koni-prog-online.com/top.html">ホームページ</a>
```

## ③その他の表示

次に箇条書きで文字を表示してみよう。

下記のようにコードを書いてみよう

```
24
25 <ul>
26     <li>1つ目の項目</li>
27     <li>2つ目の項目</li>
28     <li>3つ目の項目</li>
29 </ul>
```

## ③その他の表示

リンクの下にさっき書いたコードの内容が書かれていたら成功！

リンク

- 1つ目の項目
- 2つ目の項目
- 3つ目の項目

# 用語解説

- ulタグ: 箇条書きを作るための用意をするタグ
- liタグ: 「・」で箇条書きを表示するタグ
- olタグ: 番号で箇条書きを表示するタグ

※ 箇条書きにはli、olタグ以外にもあるかもしれないね！もしwebページを作るときに必要なになったら自分でどのようなタグがあるかその都度調べてみよう

# お疲れさまでした

テキストは終了です。  
あとは自分なりにアレンジを付け加えていこう！